

2008年12月9日

国内最大級の環境展示会に初出展 セブン&アイ 『エコプロダクツ 2008』に出展 ～ シアター形式で環境対策をわかりやすくご紹介 ～

株式会社セブン&アイ・ホールディングス（以下、セブン&アイ HLDGS. 東京都千代田区、代表取締役社長：村田紀敏）は、12月11日（木）～13日（土）に東京ビッグサイトにて開催される国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ 2008」（来場者見込み：約17万人/入場：無料）に初めて出展いたしますので、ご案内いたします。

記

【出展ブースの概要】



セブン&アイ HLDGS.では、『セブン&アイ HLDGS.環境スタジアム』と称して、ブース内（20小間：12m×15m）内に3メートルを超えるジオラマ『セブン&アイ・タウン』を設け、来場者とのクイズを交えた約25分間のシアター形式で、環境対策をはじめ以下の取り組みを分かりやすく紹介します。

セブン-イレブン、イトーヨーカドー、グループ各社の環境への取り組み

【セブン-イレブンの主な環境対策】

- ・IH式のおでんウオーマー、セラミックタイルの採用、結露防止ガラス等の省エネ設備の導入
- ・商品の共同配送システムや、運行管理、エコドライブ等による物流対策

【イトーヨーカドーの主な環境対策】

- ・LED照明やソーラーパネルの採用
- ・氷蓄熱設備やヒートポンプ空調機等の最新の省エネ設備の導入

【グループ各社の主な環境対策】

- ・「そごう」の屋上緑化、「デニーズ」の省エネ設備の導入等

セブン-イレブン、イトーヨーカドーの“食の安全・安心”への取り組み

【セブン-イレブンの主な取り組み】

- ・全ての原材料についての仕入れ・使用履歴を一元管理する「レシピマスターシステム」

【イトーヨーカドーの主な取り組み】

- ・商品の産地や生産方法、流通履歴を重視した自社ブランド「顔の見える食品。」
- ・農業生産法人『セブンファーム富里』における完全循環型農業への取り組み



セブン-イレブンをはじめとするコンビニエンスストアの『セーフティステーション活動』

- ・地域の“安全・安心の拠点”としてのコンビニエンスストア（24時間営業）の取り組みの紹介
以上

ご参考

【セブン&アイHLDGS. 出展ブース (イメージ)】 東京ビッグサイト 東展示棟 1ホール

- ブース外観 -



- ブース内 (上方からの概観) -



「エコプロダクツ 2008」の概要

開催名称：地球と私のためのエコスタイル
フェア エコプロダクツ 2008
(今回の開催は 10 回目)

会期：12月11日(木)～13日(土)
10:00～18:00 *13日は17時終了

会場：東京ビッグサイト
東展示場 1～6ホール

入場料：無料

来場者見込：170,000人
(前回実績：164,903人)

以上